

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320234	XZY2320234	1	後期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	2年
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
中国語 3b	佐藤 若菜			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×				
授業目的							
2年生の前期までに学んだ中国語の基礎を生かして、会話力を高める。高度な語学運用能力を身に付けます。							
各回毎の授業内容							
第1回				第9回			
【授】第一課 “了”の用法、連動文				【授】第七課 “着”の用法			
【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。				【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。			
第2回				第10回			
【授】第二課 進行を表す“在”、“了”の用法、未来を表す表現				【授】第八課 結果補語、“再”の用法			
【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。				【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。			
第3回				第11回			
【授】第三課 “了”、“更”と“最”、“可能”の用法				【授】第九課 数量補語、程度補語、前置詞からなる結果補語			
【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。				【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。			
第4回				第12回			
【授】第四課 “过”、“会”、“了”の用法、仮定を表す表現、分離動詞				【授】第十課 復習			
【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。				【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。			
第5回				第13回			
【授】第五課 復習				【授】まとめ			
【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。				【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。予習復習に4時間。			
第6回				第14回			
【授】筆記試験、リスニング試験、口頭試験				【授】口頭試験			
【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。予習復習に4時間。				【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。特に例文を何度も音読しながら書いて覚える。予習復習に4時間。			
第7回				第15回			
【授】資格試験対策				【授】筆記試験、リスニング試験			
【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。予習復習に4時間。				【前・後】事前に、ここまでの授業の総復習を行う。特に例文を何度も音読しながら書いて覚える。予習復習に4時間。			
第8回				第16回			
【授】第六課 存現文、同一・類似を表す表現、強調を表す“是”、逆接				【授】レポート			
【前・後】事前に、付属のCDを利用して発音練習、書き取りを行う。また、日本語訳を準備し、練習問題を解いてくる。事後には、授業内容を復習し、暗唱できるまで音読を繰り返す。予習復習に4時間。				【前・後】これまで習った文法や単語を用いて、夏休みの過ごし方をテーマに中国語の文章を作成する。予習復習に4時間。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							60
宿題・授業外レポート							20
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
口頭試験、リスニング試験、筆記試験とレポートにより評価する。試験を採点して返却し、解説を行う。							
教科書参考書							
『理香と王麗一話す中国語2-』（董燕・遠藤光暁、朝日出版社）							
受講に当たっての留意事項							
中日辞典（紙媒体の辞典ないし電子辞書）を必ず持参すること。							
学習到達目標							
日常的な会話を中国語で行うことができる。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習